

令和2年第12回狭山市定例教育委員会会議議事録

開催日時 令和2年12月22日(火)
午後1時30分から午後2時10分まで

開催場所 市役所 5階 教育委員会室

出席者 教 育 長 向 野 康 雄
教育長職務代理者 吉 川 明 彦
委 員 橋 本 秀 樹
委 員 宮 崎 英 子

欠席者 委 員 後 藤 邦 江

委員及び傍聴人を除くほか、議場に出席した者の氏名

生涯学習部長	金 子 等	次長兼教育総務課長	内 藤 光 重
社会教育課長	奥 富 悟	学校教育部長	伊 藤 秀 一
次長兼教育指導課長	田 中 義 久	書 記	神 田 崇 広

会議の公開・非公開 公 開

傍聴者数 0名

報告事項

- ・令和2年第4回狭山市議会定例会の概要について

報告者 (生涯学習部長)
(学校教育部長)

(要旨)

会期は、11月26日から12月14日までの19日間であり、議案は、人事案件2件、一部改正条例4件、指定管理8件、補正予算3件、財産の取得1件、境界変更1件、市道認定3件、市道廃止2件、専決処分1件、合計25件である。

一般質問については、15名であり、うち教育委員会関係は8名であった。金子広和議員から東中メモリアルについて、大沢えみ子議員から新型コロナウイルス感染症対策について、笹本英輔議員から教育について、千葉良秋議員から不登校の防止について、齋藤誠議員から防災教育について、広山清志議員から児童虐待について、西塚和音議員から高齢者の外出機会をつくるためにについて、高橋ブラクソン久美子議員からケアラー支援及び犯罪被害・加害等について、それぞれ質問があり、それに対する答弁の内容について報告がなされた。

委員からの質疑等では、公民館について、コロナ禍の影響で活動を再開でき

ていない団体に対して再開に向けたケアを何か考えているのかとの質疑に、公民館活動はグループの活動であり、再開は難しいという人がいるうちは、通常の活動とは違う手段でコミュニケーションをとりながら、つながりだけは保つよう無理なく活動しましょうと助言するなど個別に対応を行っている。オンライン講座は、高齢者には難しいかもしれないが、スマホの使い方などの講座については人気があり、高齢者が外とのつながりをつくれるような講座は考えていく旨の答弁がなされた。

文部科学省で提唱している少人数学級について、狭山市の対応への質問が増えるのではとの質疑に、狭山市でも、適宜対応できるように準備を進めている。今のところ、教室数が不足するようなことはないが、加配が廃止になることから、今までどおり指導支援ができるよう検討しなければならない。35人学級については、令和3年度から毎年1学年ずつ進めていく国の方針があり、小学2年生は、来年度から35人学級になるが、すでに、埼玉県では、独自に2年生の35人学級を実施しているため、実態は変わらないことになる。県が、これまで同様1年先んじて、小学3年生について実施すれば、変化が生じることになるが、今のところ県では動きがない状況である旨の答弁がなされた。

委員からは、いずれの質問も今課題とされる内容であり、引き続き注目すべきことだが、とりわけ、教員の資質が問われるような事案が増えることが懸念される。教育委員会として厳正に指導する必要がある旨の意見がなされた。

・令和2年度博物館秋期企画展の開催結果について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

秋期企画展「私たちの災害サバイバル展～自衛隊防災BOOK・知って学んで備えよう！」は、9月26日（土）から11月29日（日）まで、全57日間開催し、昨年の台風19号の水害被害の記憶も新しいことから多くの来場があり、入場者数は4,343人であった。館内には、千年に一度の水害を見越した「入間川周辺最大浸水域マップ」などを展示した。来場者アンケートでは、「とても良い」「良い」が約8割と好評であった旨の報告がなされた。

委員からの質疑等では、関心を持って見させてもらったが、今回の展示物を他で展示するなど、より多くの子どもや大人に見てもらおうよう検討できないかとの質疑に、企画展後の展示物の保管状況を確認したうえで、関係課と協議し、活用を検討していきたい旨の答弁がなされた。

・第38回狭山市文化財防火デー防火訓練の中止について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

毎年、1月26日は、文化庁・消防庁の主唱により、文化財を火災・震災等の災害から守り、全国的に文化財防火運動を展開するために、文化財防火デーと定めている。狭山市においても、1月26日に近い土曜日を利用し、文化財防火

デー防火訓練を実施してきたが、人が密集すること、大きな声で掛け声をかけ合って行うこと、参加者の特定が完全にできないこと等について、狭山市のイベント等のガイドラインに照らし本年度の開催を見送ることとした。なお、これに伴い、市指定文化財の所有者に対して、文化財防火デーの主旨や防火防災の周知を目的としたチラシを作成し送付することを検討している旨の報告がなされた。

- ・狭山市教育委員会後援名義の使用行事について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

社会教育課関係 1 件の申請があり、審査の結果、使用許可を行った旨の報告がなされた。

以 上